



日野に生きる

真住の神楽面師
～暮らしが生んだ2人の職人～

裏表紙に記事が掲載されています。

主な内容

- ・臨時議会(11/30)条例改正、一般会計補正予算(第6号) ……P2～3
- ・12月定例議会条例改正、一般会計補正予算(第7号) ……P4～5
- ・令和元年度決算審査指摘項目に対する回答 ……P6
- ・議会常任委員会活動報告 ……P7～8
- ・一般質問(7人) ……P9～15



新年のご挨拶



日野町議会
議長 小谷 博徳

新春のお喜びを申し上げます。
皆様におかれましては、希望に満ちた新年の幕開けをお迎えになられたことと、心よりお喜び申し上げます。
日ごろから町議会へ、厳しいご意見や温かいお言葉などの叱咤激励をいただき、厚くお礼を申し上げます。
昨年を振り返ってみますと、新型コロナウイルスに始まり、収まることなく年の瀬を迎えました。

少子化が進む中、本町の義務教育の方向性が示され、義務教育学校小中一貫校として、現在の根雨小学校の場所に令和5年開校に向けての作業が進められています。

ヘリコプター基地が滝山公園に完成。大規模災害時に空からのあらゆる支援に対応できる日野郡一の防災基地であります。

今年度の展望として、まずは、新型コロナウイルスの早期終息と、一刻も早い通常の生活様式を取り戻すことを願うところです。

町民との信頼関係醸成に向けた議会改革特別委員会の中で、竹永委員長をはじめ全議員が、「議会活動の見える化」「出かける議会」を目指して取り組みます。

議員は町民の代弁者として執行部に政策提案する責務を有しています。その中で全町民に係る重要な政策は、議会として提言することにより町民生活の福祉向上に寄与する議会を目指す所存です。

ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年
臨時議会
11/30

一般会計 補正予算

耐震性貯水槽設備2か所の工事費に410万円を増額補正

主な内容

- 耐震性貯水槽整備
 - ▼下榎地区耐震性貯水槽設置工事費増額 151万4千円
 - ▼下本郷地区耐震性貯水槽設置工事費増額 261万9千円
- ▼日野町会計年度任用職員への給与及び費用弁償に関する条例の改正
- ▼日野町特別職で常勤のもの(町長・副町長・教育長)の給与及び旅費に関する条例の改正
- ▼日野町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の改正

条例改正

主な内容

- 人事院が行った給与勧告に基づき、期末手当(ボーナス)を0.05月分引き下げる。
- ▼日野町職員の給与に関する条例の改正



下榎地区の貯水槽

質疑

耐震性貯水槽整備について

議員 該当の工事はほぼ完成しています。議会の承認を得てから追加工事をすべきでは。

町長 補正予算提案の時期が不適切でした。反省しています。このようなことは、二度とないようになっています。経緯等は検証の後、報告をします。

議員 影響額は。

課長 町職員については101万7千円、また、特別職で常勤のものに給与・旅費については12万2千円、議員の報酬・費用弁償については14万円のそれぞれ減額です。

討論

耐震性貯水槽整備の工事費について

反対討論
追加工事の終了後に議会の承認を得ようとするなど、あつてはならないこと。説明も不十分です。よって、反対します。

賛成討論

新型コロナウイルス感染症による経済の冷え込みが反映されたものであり、人事院勧告による引き下げはやむを得ないと考えます。また、今回の勧告は給与分だけでなく期末手当の引き下げであり、民間の現状を考慮したものと考えられます。民間感情を考慮の上でも妥当だと認めます。組合との合意もあり、賛成とします。

採決

令和2年 第8回日野町議会臨時会(11/30)議案	中山法貴	梅林敏彦	山形克彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
町職員の給与に関する条例の改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の改正	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
一般会計補正予算(第6号)	○	○	×	○	×	○	×	○	×	可決

議員 減額の理由は。

課長 人事院勧告に準じての減額です。民間と公務員のポーンナスに差が出てきたため、勧告が出されました。

議員 職員組合との協議とその内容について報告を。

課長 組合との協議はできています。原案どおりの理解を頂いています。

反対討論

日野町職員の給与に関する条例の改正について
新型コロナウイルス感染症の対応等で地方公務員の

令和2年
12月定例会
12/4~15

一般会計 補正予算

主な内容

- 根雨地区浸水対策事業 増額4260万円
- ▼町道舗装復旧工事の変更と、予想外の湧水対策費用が増加した。また、工事場所の安全確保のため警備員を配置する。加えて水道管移設工事の追加等が生じた。
- 日野町新生児特別定額給付金事業の増額 30万円
- ▼国の支援政策の対象とならない令和2年4月28日から令和3年3月31日の間に生まれた子どもに対し、10万円を支給する政策の対象者見込みが増えたため、増額補正をする。(3人分)
- 障がい者総合支援 34万6千円
- ▼身体障がい者自動車改造費助成事業 10万円
- ▼日常生活用具(蓄尿袋・畜便袋)給付の申請者が当初見込みより増加したため。 24万5千円

特別会計 補正予算

主な内容

- 土木総務人件費 103万円
- ▼10月31日付で職員が1名退職したため、会計年度職員を1名雇用する。
- 才の原たたら跡の発掘調査費 159万円
- ▼国道180号線改良工事に伴う調査費の計上。
- 鶴の池キャンプ場水道施設工事費 1000万円
- ▼キャンプ場設備で次年度に工事計画していた給水ポンプ・滅菌装置・受水槽・ポンプ小屋等の工事費の財源確保が可能となったので、工事費を増額する。
- 特別会計オンライン管理システム変更
- ▼国民健康保険システム改修 70万4千円
- ▼介護保険システム改修 114万4千円
- ▼後期高齢者医療保険シス

条例等の一部改正

主な内容

- 日野町国民健康保険税率の一部改正
- ▼個人所得税の見直しに伴う軽減判定所得基準の見直しと規定の整備を行う。(表参照)
- 根雨地区水道管工事 407千円
- ▼根雨地区豪雨時の浸水災害防止工事現場で、設計計画時に移設しなくても良いとされていた場所の水道管工事の変更が生じた。
- 汚泥処理費の減額 △167万7千円
- ▼日野町特定環境保全公共下水道日野浄化センターの改修工事に伴う、汚泥処理方法の変更により減額。
- 諏訪地区水道管修繕工事への補助 27万5千円
- ▼諏訪地区飲料水供給施設の水道管のつまりを地元が修繕する。その工事費の2分1を補助する。(修繕工事費見積額55万円)

根雨地区浸水対策事業に新たに4,260万円を追加補正

質疑採決

補正予算について(抜粋)

思うので、観光の基地として活用したい。

新生児特別給付金

議員 対象人数の見込みは。

町長 年度末までの見込みを13名とみているが、増減があるかもしれない。

文化財保護について

議員 才の原たたら跡の場所と目的は。

町長 国道180号の根妻と数津橋の間の曲線改良に伴い、才の原たたら跡を発掘調査し記録するもの。

鶴の池キャンプ場整備

議員 鶴の池についての将来ビジョンは。

町長 ションであり、今後キャンプ人口も増加すると

テム改修 407千円

○愛と元気の日野町ふるさと基金条例の一部改正
▼ふるさと基金条例に定める事業区分に「生活基盤を支える公共交通事業」及び「地域医療の中核を担う日野病院組合支援事業」を追加する。

基準	改正前	改正後(施行期日令和3年1月1日)
7割軽減基準額	33万円	43万円+10万円×(給与所得者等の数-1)
5割軽減基準額	33万円+28.5万円×被保険者数	43万円+28.5万円×被保険者数+10万円×(給与所得者等の数-1)
2割軽減基準額	33万円+52万円×被保険者数	43万円+52万円×被保険者数+10万円×(給与所得者等の数-1)

町長 昨年度末で1169万円です。

議員 この基金の当初の目的は、住民の生活支援事業に供することであった。新規事業を目的に追加することは良いが、当初の目的を忘れないように。

町長 病院、地域交通を追加しなくても現行条例で対応できなくもないが、あえて入れることで、このような用途もあることを広く訴えたい。

12月定例議会議案採決

令和2年 第9回日野町議会定例会(12月)議案	中山法貴	梅林敏彦	山形克彦	金川守仁	松尾信孝	中原信男	安達幸博	佐々木求	竹永明文	採決
日野町国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
愛と元気の日野町ふるさと基金条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
鳥取県町村総合事務組合規約の変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
鳥取県西部広域行政管理局規約の変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
日野町江府町日南町衛生施設組合規約の変更に関する協議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
建設工事委託協定の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町簡易水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和2年度日野町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決



鶴の池キャンプ場のボーリング調査



令和元年度 決算審査 指摘事項

町からの 回答

●決算審査とは
前年度の収支決算を9月議会において議会が精査して改善すべき点を町に指摘する。指摘を受けた町は改善に取り組み、その状況を12月議会でご回答する。

追加するなど工夫する。また登録者増の取り組みを進める。

⑤元山陰合同銀行根雨支店建物の耐震補強について
早急に活用方法を決定し、耐震補強を実施されたい。

●回答
来年度に耐震調査設計を行うよう検討中である。

⑥買い物福祉サービス支援事業について
移動販売業者が高齢者の見守り活動を行う場合に県事業の助成を活用しているが、見守り活動は移動販売業者以外でも可能ではないか。仕組みについて再考を。

●回答
移動販売事業は非常に重要な事業と位置付けており、仕組みについては、高齢者見守り連絡会を中心に、体制構築に向けて検討する。

⑦社会福祉協議会運営への支援について
町は令和元年度、社会福

祉協議会に1163万円を補助。町も社福と連携して地域福祉を推進されたい。

●回答
社福には事業の実施計画を立てていただくことが必要。計画を実現するために、町は社福と連携を図る。

⑧介護保険特別会計について
介護給付費が2年続けて計画値より大幅に下回っている。来年度からの第8期事業計画策定では、このことを勘案して保険料額を定められたい。

●回答
状況を十分勘案して第8期の介護保険料を提案する。

⑨除雪委託業者への最低補償金支出について
待機要員の確保のため、最低補償額支出の検討を。

●回答
県・近隣市町村と情報交換しながら検討を進める。

⑩公共上下水道に加入できない世帯への助成について
井戸掘削した場合や水質検査料等への助成の検討をされたい。

●回答
定住対策として、簡易水道区域外に転入された場合には、新規の井戸掘削にのみ補助する方向で考える。また、区域外の世帯が個人型合併処理浄化槽を設置する場合には補助制度を設けている。

⑪日野高校魅力向上事業について
入学者数が今年度も半数未満なら廃校もあり得る。より一層の魅力向上を。

●回答
「日野高校魅力向上推進計画」を改訂して具体的な方向性を示し、「地域みらい留学」やシンポジウムを通しての魅力再発進、西部地区中学校への訪問などを積極的にを行っている。また、「公設塾まなびや縁側」との連携も推進している。

⑫7月29日、研修会を開いてオンラインで録画を視聴し、意見交換を実施。
○今後の方向性
開かれた議会を指すことを全議員の共通認識とします。そして、全員協議会のどの分野をテレビ中継するのか、具体的に検討してまいります。

○委員会の活動目的
議会の改革と議員のなり手不足対策に取り組むこと。
①平成30年9月、町民アンケートを実施しました。
②令和元年5月、「出かける議会を実施して町民の皆さまから直接意見を聞き、政策提案につなげる」ことを確認しました。
○これまでの活動と経過
①令和元年9月、議会改革特別委員会を設置。
②令和2年3月26日、全員協議会をテレビ中継することと意見調整。
③議員全員にタブレット導入を提案要求。
④6月11日、全員協議会の試験録画を実施。

○チャンネルひので議会議画がご覧になれます。一般質問議員個別に録画視聴が可能です。
・このQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会議画の録画を見られる「チャンネルひの」の過去の放送ページにアクセスできます。

ご案内

○チャンネルひので議会議画がご覧になれます。一般質問議員個別に録画視聴が可能です。
・このQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ると、議会議画の録画を見られる「チャンネルひの」の過去の放送ページにアクセスできます。



①収入未済額について 住宅新築資金、災害援護資金等の未収額が依然として多額である。

●回答
納税者への働きかけを強化する。「日野町税等滞納処分」の執行停止事務取扱要綱」を制定し、滞納処分の適正な執行を行う。

②新地方公会計制度による財務書類の情報公開について 複式簿記による財務書類を公開し、透明性と説明責任を果たされたい。

●回答
財務分析を添えて町のホームページに掲載。県のホームページからも閲覧が可能である。

③情報化・防災発信力強化 機器の有効活用について 整備されたカメラ等の機器を有効活用されたい。

●回答
ひのっこ保育所運動会、令和のふいご祭を中継した。台風時には、日野川水量確認用カメラを増設して対応した。

④ふるさと住民票登録制度 とふるさと納税の推進について 制度充実とふるさと納税推進を一体的に取り組み、関係人口の拡大と財力力の向上を図られたい。

●回答
ふるさと納税の用途については日野病院への支援を

●回答
ふるさと納税の用途については日野病院への支援を

総務 経済

常任委員会

サテライト「コミュニケーションズ ネットワークSCN」社視察 11月17日

SCN社は、日野町の「チャンネルひの」番組を制作している会社です。

議会では、日野町がケーブルテレビを導入する前に同社を視察しておりますが、開局から2年経過し、町民の皆さんにも好評であることから、今回改めて同社を訪問し意見交換をいたしました。主なテーマは、実際の取材・収録から放映に至るまでの情報の流れの確認と、現在検討中の議会議画の拡大についてでした。

そのうち議会議画について、中継が始まるとチャンネルひのの視聴率がぐんと上がる、との貴重な情報もいただきました。また、現在日野町のホームページで録画で見ることができ議員の一般質問が、質問者ごとに見られるように編集を区分してもらえようにな

りました。

(詳細は下段参照)

日野町観光協会との意見交換 12月7日

日野町観光協会は、金持神社礼所(売店)や金持テラスで宝くじ売り場を運営するなど、町内外からの来訪者に幅広いサービスを提供されています。そして、その収益から毎年町に多大なご寄付をいただいております。町ではそれを観光基金に取り入れて観光事業の振興に役立たせてもらっています。

今回いろいろテーマの意見交換をしましたが、町に対する要望として、「観光資源を中長期的に持続可能な視点で育んでいただき、観光事業の核としていくような観光政策を実施していただく」とのご意見もいただきました。



議会 広報

常任委員会

委員会は広聴活動として「出かける議会」を推し進めてまいりましたが、残念ながら、コロナ禍により昨年2月以降は自粛しております。コロナ禍が収束次第、速やかに再開する所存です。

委員会の主要な仕事のひとつに『議会だより』の編集・発行があります。

前号から新たな企画として、町民の皆さまの活動や生き方をテーマにご紹介する「日野に生きる」の連載を表紙と裏表紙で始めました。

前号では下黒坂の「日野町初音句会」を、今号では真住の「2人の音楽面師」を取り上げました。いかがでしたでしょうか。ご意見をお聞かせください。幸いですが、今度も、個別に取材させていただきます。ご協力をお願いします。

もうひとつ新しい試みとして、前号の『議会だより』から誌面にQRコードを掲載し、インターネットで「チャンネルひの」の議会議画録画をご視聴できるようにしております。

議会 改革

推進特別委員会

○委員会の活動目的
議会の改革と議員のなり手不足対策に取り組むこと。
①平成30年9月、町民アンケートを実施しました。
②令和元年5月、「出かける議会を実施して町民の皆さまから直接意見を聞き、政策提案につなげる」ことを確認しました。
○これまでの活動と経過
①令和元年9月、議会改革特別委員会を設置。
②令和2年3月26日、全員協議会をテレビ中継することと意見調整。
③議員全員にタブレット導入を提案要求。
④6月11日、全員協議会の試験録画を実施。

消防委員会

日野町消防委員会とは、本町の消防団に関する重要事項について町長の諮問に応え、また町長及び議会に対して建議できる組織です。委員長である町長をはじめ、消防団関係者2名、学識関係者2名、それに町議会議員3名の計8人で構成されています。



今年度の消防委員会は、12月11日、議会からは3人の議員が出席。主な報告と協議は以下の通りです。

《報告》

○消防団の団員数62人
○災害時の出勤は、①4月13日、大雨による根雨水路オーバーフローで土嚢設置など。②6月24日、津地の草火災の消火。
○コロナ禍の影響により、出初式や操法大会など重要行事を中止。
○ひのっこ保育所での避難訓練や小学生への出前学習の実施は好評を得ており、今後も継続したい。

《協議》

○令和3年度予算要求 道路交通法改正により、新たに取得する普通運転免許では日野町が所有する車両総重量3・5トン以上または最大積載量2トン以上の消防車を運転できなくなったため、今後の入団希望者の免許取得にかかる費用を助成し、消防団活動への参加意欲向上を図るべきではないか。計4名を想定。予算額50万円。

また、消防団関係委員から「災害時の迅速な情報収

集のため赤バイ隊員を1人増やしたい」「将来的な課題として、防災基地に訓練用の防火水槽の設置を検討してほしい」旨の要請がありました。



研修会

日野郡町議会 議員研修会

開催日 11月6日(金)
会場 日南町総合文化センター 多目的ホール
演題
住み慣れた地域で暮らし続けるための仕組みづくり
「地域づくり・地域磨きを進めましょう」
講師 川上 宏 氏

鳥取県日野振興センター 鳥取県町村議会 議員研修会

開催日 11月13日(金)
会場 北栄町大栄農村環境改善センター
演題 1
「コロナウイルス感染症に打ち勝つ免疫力」
講師 奥村康氏・順天堂大学 医学部免疫学 特任教授



演題 2
「議会においての『人権問題』への取り組み」
講師 川村妙慶(みょうけい)氏 真宗大谷派僧侶、アナウンサー



訂正

○広報126号に表中の塗りつぶし箇所が誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。7ページ【決算委員会特別委員会】中段表

日野町財政健全化判断比率

健全化比率	早期健全化基準	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実質赤字比率	15%	-	-	-
連結実質赤字比率	20%	-	-	-
実質公債費比率	25%	11.6%	8.5%	7.0%
将来負担比率	350%	-	-	-

Q パワハラ研修の成果は

A パワハラは人権・人格の問題と認識



松尾 信孝議員

議員 9月に引き続きです。10月のパワハラ研修を受けて印象に残ったことは何ですか。

町長 指導のつもりと言動が、受け手にとっては心的圧力になり、パワハラとみなされる例が多数示されました。

議員 研修会直後にパワハラ防止の規定が制定されたのは評価しますが、訴えの窓口として既

存の防災対応の「衛生委員会」では、被害者の救済は多少できるが、加害者と疑わしい人のケアが全く欠落しています。

町長 多様な機関があるが、今後検討します。

議員 9月質問時に「パワハラを人権問題として社会教育活動に取り入れる」と言われた。町

長の決意や方針を広報に載せて啓発を図る考えはありませんか。

町長 一つの手法として検討します。役場以外の事業所に関しては、法律の趣旨を理解し、当事者で対応していただきたいと思っています。

日野町職員の給与レベル

議員 問題提起として指摘します。ラスパイレス指数でみる限り、日野町職員の給与レベルは鳥取県内では一番低いです。

町長 そのことについては認識しております。

議員 町長等特別職・議員は他町レベルに戻りました。職員給与を上げて、しっかり仕事をしだと思えます。町長の強

町長 よく考えて対応したいと思えます。

いリーダーシップで取り組んでいただきたい。

ラスパイレス指数	参考 特別職報酬 (単位:千円)		
	町長	議長	議員
令和元年	810	316	221
平成30年	810	316	221
日野町	810	316	221
日南町	810	316	221
江府町	810	316	221
県内町村平均	807.6	319.9	221.8

ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100としたときの市町村職員の給与水準





金川 守仁議員

Q 第2期創生戦略に対する取り組み強化はどうか

A 丁寧に企画立案を進めたい

議員 耕作放棄地を活用した特産品開発の現状と、実施可能な政策とは何かをお尋ねします。

町長 はぶ茶の原料となるエビスグサ、エゴマ、ソバなど、梅や栗などを栽培する計画もあるとお聞きしています。放棄地対策を積極的に取り組んでまいります。

議員 J R 伯備線の利用促進について何かお尋ねし始めるべきかをお尋ねし



岡山 高松間 快速マリンライナー

ます。例えば伯備線を走る「特急やくも」を少しやれなライナー（快速）にして岡山と出雲間を走らせれば普通料金で利用可能。J R 西日本への提案もありだと考えます。

町長 現在、根雨と米子の特急料金支援を公設塾の塾生に実施しています。今後は、利用者ニーズをくみ取りながら利用促進して参ります。

議員 町道下黒坂線舟場、下安井間の事業について、6月以降、どのような協議が行なわれ、今現在どのような判断になっているのか伺います。

町長 今後の事業計画の進め方に慎重にならざるを得ないと考えています。協議については、6月23日と7月8日関係機関と協議を行いました。

現在の国からの予算配分状況では完成までに30年程度かかるの見込みであること、有利な財源である過疎債を使っても日野町にとつて将来にわたり大きな負担になることを懸念しています。

議員 とりわけ、関係の深い自治会への説明など行われたのか伺います。

町長 舟場自治会に対し、7月と8月に説明会

議員 正月の金持神社付近での交通渋滞緩和策について伺います。

町長 毎年、警察や町観光協会、金持神社、県などと連携して誘導員配置などを行っています。渋滞緩和にはつながっていません。

今年、株式会社ケイナ様のご厚意で工場内を臨時駐車場として利用させていただき対応します。今後関係者と相談しながら具体的な対応を進めてまいります。

議員 「再生可能エネルギー活用」について伺います。近隣市町村ではすでに積極的な取り組みがすすんでいます。わが町の政策について伺います。

町長 太陽光パネル及び電気自動車の充電施設整備など脱炭素化社会への取り組みを含め、町としても積極的な取り組みを考えてまいります。



日野町にはまだない 電気自動車充電ターミナル

を開催しました。地元からは、「工事期間が長くかかっても実施してほしい」「この道路に多くのお金を使うより、町内には他に改修の必要はないか」などの意見がありました。

義務教育学校の進捗は

議員 義務教育学校の新設は、予定どおり進んでいるのか質問します。廃校となる小学校、中学校の校舎及び跡地の活用について、方向は定まったのか伺います。



黒坂小学校の跡地活用も重要事項

ついでに、検討委員会を開催いたしました。現在はまだ方向性は定まっておりませんが、来年度末には一定の方向性を出したいと思っております。また、庁舎内でも、若手職員を中心に学校跡地活用検討を始めており、並行して進めてまいります。

町長 住民の方12名に学校跡地検討委員会

Q 町道下黒坂線舟場・下安井間をどうするか

A 将来大きな負担にならないか懸念



中原 信男議員



町道下黒坂線の工事予定地（舟場周辺）





梅林 敏彦議員

Q 森林環境譲与税を 原木椎茸の生産振興に

A 生産者の意見を聞きながら知恵を絞る

議員 ナラ枯れ被害が広がっている。ナラ類の木は原木椎茸栽培に無くてはならない資源。対策を伺います。

町長 鵜の池周辺、久住郷岩田地区、上菅地区の5地区を重点対策区域に指定し、被害減少に力を入れているところです。

議員 昨年度創設された森林環境譲与税の使い道は弾力的に運用

できるとされており、工夫次第では本町の椎茸生産振興にうってつけの取り組みができるのでは。

町長 まさに知恵の絞りどころで、生産農家のご意見も伺いながら検討していかなければなりません。

議員 現在、町外から移住した若い継承者が力強く育っている。この流れをさらに加速するには、日野町における原木



穴開けと植菌が一瞬にできる自動植菌機

椎茸栽培の魅力を全国に発信することが重要。例えば、危険で重労働である原木伐り出し作業の機械化。さらには、この作業自体を林業事業者に分担してもらうなど、さまざまに考えられるが。

町長 機械化についてはまさにその通りで、日本きのこセンターとも情報を共有し、大径木の伐採については森林組合と相談

してみたい。

議員 町は、鵜の池キャンプ場で懸案の飲料水の確保をされた。今後の鵜の池観光ビジョンをお聞かせ下さい。

町長 来年度以降、トイレやシャワーなどの整備、キャンプサイトの有料化などを検討し、交流人口拡大や経済活性化につなげていきたい。



アウトドアブームで鵜の池はいま大人気



安達 幸博議員

Q 西部地震展示交流センターの 移設と支援を

A 継続に町の支援は必要

議員 鳥取県西部地震展示交流センターの設置の経緯と財源、活動内容、今後の取組や課題、町の関わりについてお聞きします。

町長 この施設は鳥取県西部地震から得た教訓や経験を後世に伝承する拠点として鳥取県が山村開発センター内に設置されました。

日野ボランティア・ネットワークは、管理・運営業

務と、住民が主体となった防災体制づくりの2つの事業を受託し活動しております。

県西部地震から20年の経過を区切りに、職員を常駐しての常設展示は廃止される方針と伺っております。住民が主体となった防災体制づくり事業は継続される予定と聞いています。

議員 いずれにしてもこの施設の対して町は、さらなる支援が必要と思



壁にクラックが生じている元山陰合同銀行根雨支店

います。
元合銀施設に県西部地震展示交流センターを移転し、新たな切り口でボランティア活動拠点と位置づけ、17のゴールを示すSDGsを町民が考え、行動する施設にしたらどうでしょうか。

町長 SDGsの考え方は、きりぎり日野町創生戦略に関連させて事業を行います。多くの方が活用できるように検討しており、占有

されるような利活用は考えていません。

議員 ボランティア活動は高齢者見守り、道路の掃除、学習支援などいろいろあり、SDGsの区分も違います。町民が目指す町民のための施設にしては。

町長 議員、熱く語られましたので、議員の考え方は確かに伺いました。参考にさせていただきます。



県西部地震展示交流センター



佐々木 求議員

Q 介護保険料は下げられるのでは

A 次期に見直しを検討する

議員 介護保険は7期の3年間で4650万円が積み立てられた。月額7459円の基準額は西日本でも断トツに高く、取りすぎたものは当然返すのが基本です。原因はどこにあったのかと考え、次期には当然減額や見直しを考えなければならぬ。制度の欠陥は明らかで改善を求めなければいけない。どうとらえていますか。

ますか。

町長 6期に3200万円が不足し7期の保険料で埋め合わせなければなりません。給付費の減少は、要介護3以上の被保険者が減ったことや施設入所者が減少したこと。また、百歳体操をはじめ介護予防事業や認知症予防事業などの成果が、徐々に現れてきた結果だと

推測しています。今後は介護予防事業などを、さらに充実し、給付費抑制に努めていきたい。積み立て予定の基金の一部取り崩しを前提に見直しを考えています。介護保険料の地域差があるのは大きな課題で、緩和措置に地域間格差が課題とならないような手当が必要と考えています。



健康づくりの取り組みについて話し合う集会風景

地域のインフラ整備計画が必要

議員 ライフラインの地域の整備計画を持つ必要があるのでは。

町長 相当な経費がかかるので、より有利な補助金を活用して実施していきます。



地域防災訓練に積極的に参加される地域住民



中山 法貴議員

Q 廃校危機の日野高校を存続させる覚悟は

A 是が非でも存続させます

議員 町は令和2年度の予算において日野高校の支援に2152万円を出していますが、その日野高校は入学者数が2年連続して募集定員の2分の1に届かず、廃校の危機となっています。

存続のためには来年度38名以上の入学者数の確保が課題となっていますが、日野高校存続への町長の覚悟をお聞かせください。

町長 日野高校は町の誇りであり、町の活性化にも大きな役割を担っています。是が非でも存続させていかなければなりません。

議員 町長は日野高校魅力化向上推進協議会の会長ですが、入学者38名以上という協議会の計画が上手く行かなかった場合に責任は誰が取りますか。



鳥取県立日野高等学校

町長 責任については考えていません。

議員 これから入学者募集の3月までにどのような支援をしますか。

課長 協議会ではこれまでで県西部の中学校訪問を行い、県外へもオンラインで学校説明会を行って

きました。今後も情報発信をしていきます。

議員 存続へは地元である日野町の町民の意識の高まりも必要では。

町長 高校生シンポジウムを開催するので、そこで町民意識を盛り上げていきたいです。



日野高校魅力向上推進計画

日野に生きる

第2回 真住の神楽面師

～暮らしが生んだ2人の職人～

日野町に住む人々の暮らしと想いをテーマにお届けする連載です。



「難しいのは色塗りだ」と吉村さん

神楽をご覧になった方は日野町にはたくさんおられることでしょう。が、その面を作る職人さんが、今も日野町には2人もおられることをご存じでしょうか。

2人とも「趣味でやっている」と言われます。しかし、見ればわかる通り、趣味の範疇をはるかに超えている

素晴らしい作品ばかりなので。

独学で磨いた技術

神楽は古くから神社信仰の対象として、また庶民の娯楽として親しまれてきました。特に日野地域では荒神神楽が盛んで、旧正月などには夜を徹して演じられ、観客は食べたり飲んだりしながらその勇壮さを楽しんだものです。

「天井の高い大きな民家を借りて上演しとった。ジゲ中の者が観に行つた」

こう若い頃の思い出を話すのは、やがて自ら神楽面の彫師となる濁谷の吉村俊昭さんです。

「近所に遊びで面を作つとる人がいて、時々見学に行つとるうちに自分もやってみたくなつてな」

40歳代になってからの挑戦でした。それまではトラックの運転手をしながら、家族を養うために必死に働きました。やがて子供たちが独立し、ようやく趣味を持つ余裕ができたのです。

しかし、師匠がいるわけではありません。能面師の

作品展に通つたり、面作りの同好会に入つたりもしましたが、結局は本を読んだり、実物を触つたりしながらの独学で技術を磨いてきました。

何とか良いものが作れるようになったのはいつ頃か、という問いには、

「いやいや。今でも満足できるもんはひとつも作れん。一生、勉強だよ」

面作りは死ぬまで続けるよ

その吉村さんの作業場を覗いて、自分もやってみたくなつたのが三土の柴田利己さんです。

「石材店に勤めとつたけど、60歳頃になつた時、家が病気で倒れてな、わしも家におらんといけんようになった。何か暇つぶしができんかなあとと思うとつたところに、これを見つけた」

とは言え、柴田さんも独学。2人とも、よほどの天賦の才があつたのでしょうか。

「いやあ、今と違って、わたしの若い頃は何でも自分で作つとつたけえな。道具



柴田さんは仏像も彫ります

も作つたし、家が壊れたら自分で直したし」

現金収入の乏しい時代、生きるためにやってきたことが、現在の技術の土台になつているのかもしれない。

今、柴田さんは82歳。吉村さんは83歳。

「ひとつ作るたびに反省点ばかりで、この次は、この次はと思う。だから、死ぬまでずっと作り続けるだろうと思うよ」

能面を彫る職人を能面師と言います。辞書には無い言葉ですが、この2人のことを「神楽面師」と呼びたくなつた今回の取材でした。

あとがき

初春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は私たちを取り巻く環境が一変した激動の年でした。一人ひとりが徹底した感染予防対策を取り入れ、笑顔を絶やさずコロナ感染症の終息を一日でも早く迎えられるよう願います。

地域活動や行事がやむなく中止や縮小化され、出会うの場が限られたことで、人との繋がりの尊さを痛感した一年でした。

苦難を乗り越えたその先の幸せを信じて、議会広報だよりをお届けさせていただけます。一読いただければ幸いです。

(記 金川守仁)

- 議会広報常任委員会
- 委員長 金川 守仁
 - 副委員長 梅林 敏彦
 - 委員 佐々木 求
 - 委員 中原 信男
 - 委員 松尾 信孝
 - 委員 中山 法貴

